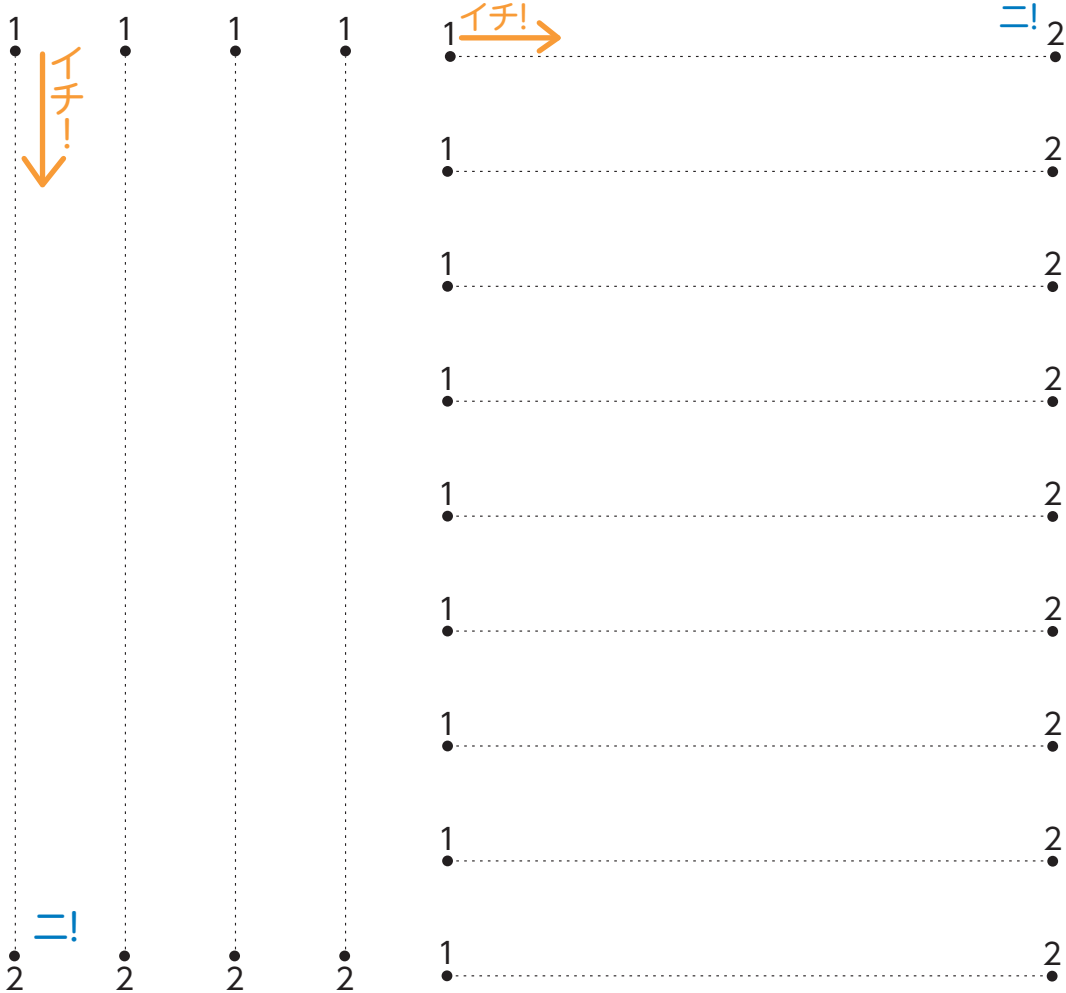




上里メソッド

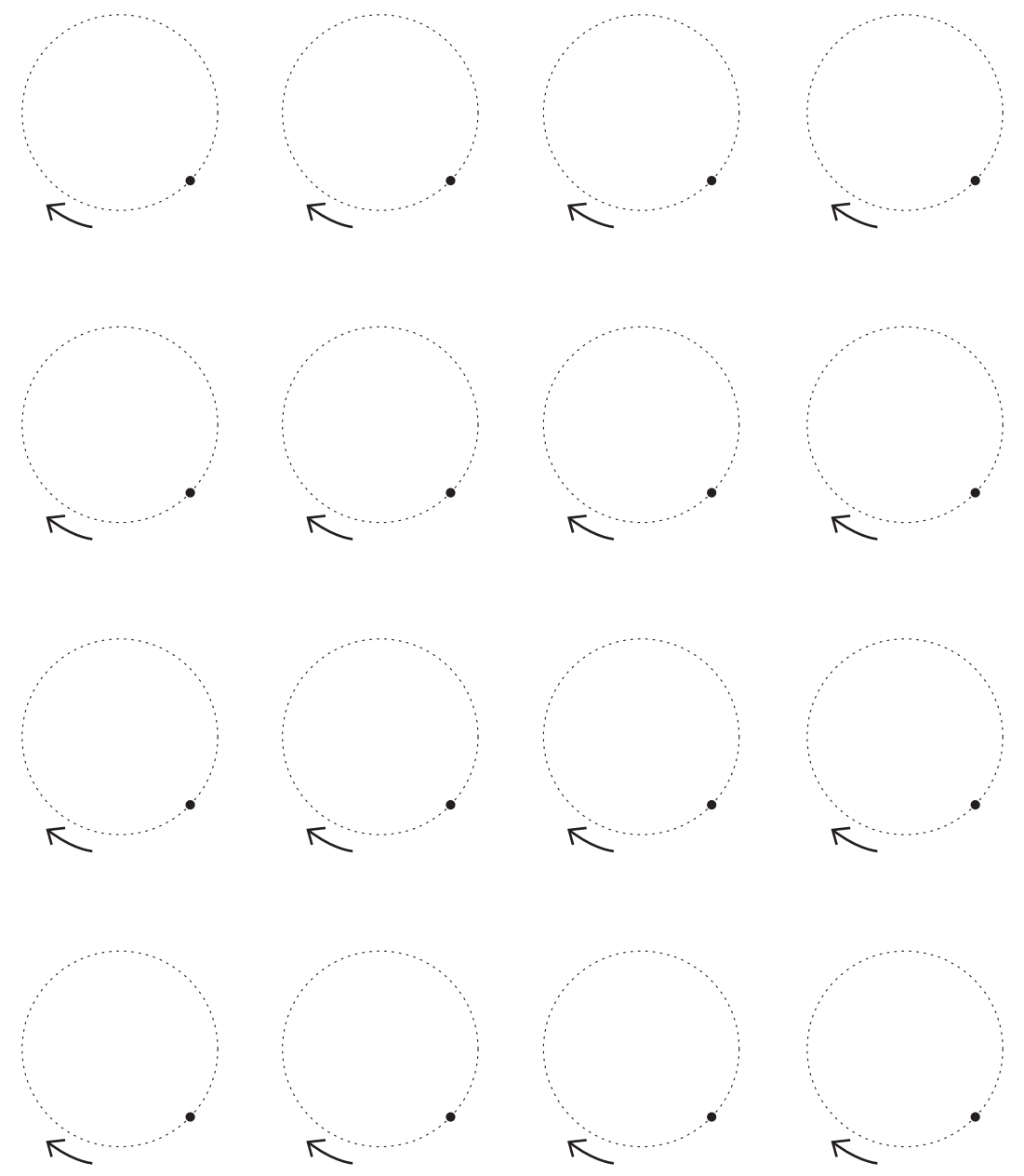
リズムよく鉛筆を動かすことで、思い通りに鉛筆を動かす練習ができます。
ゆっくり、はみ出さないで書く練習ではありません。

てんせん
点線を えんぴつで なぞりましょう。



2で ピタッと とめる
いしきをしよう

てんせん
点線を えんぴつで なぞりましょう。
まる なな みぎした と けい か
丸は、斜め右下から時計まわりで書きます。
なな みぎした お い
斜め右下にえんぴつを置いて「まる！」と言いながら書きます。



「まる！」ではなく
「まる！」っていうとリズムにのれるよ

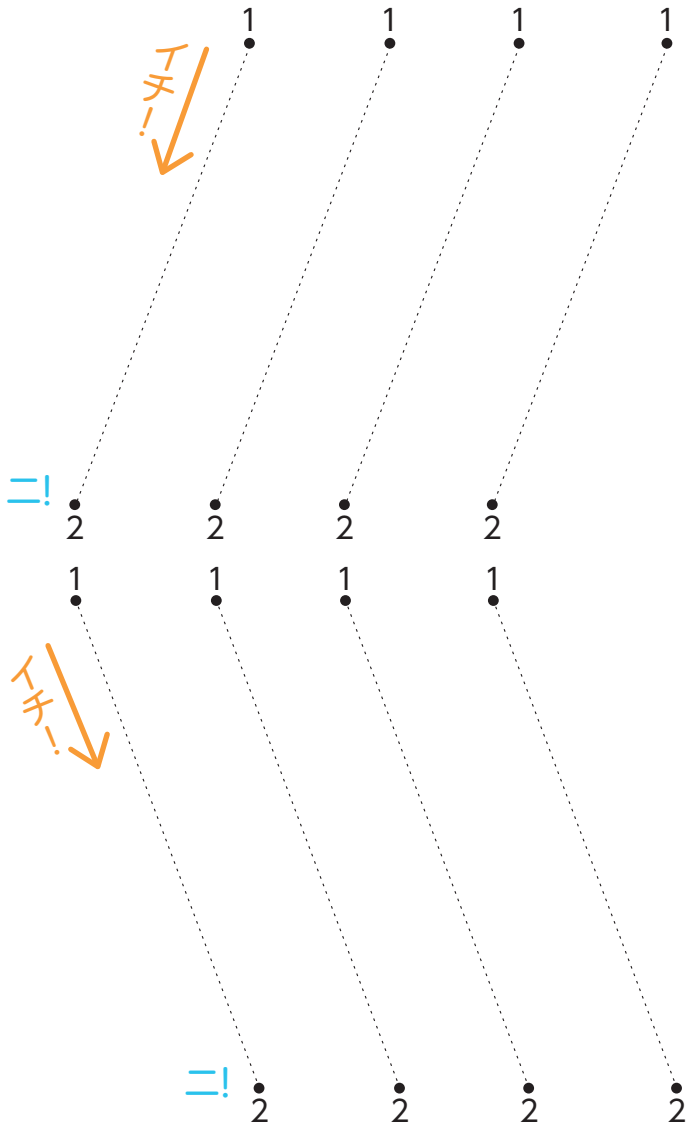




上里メソッド

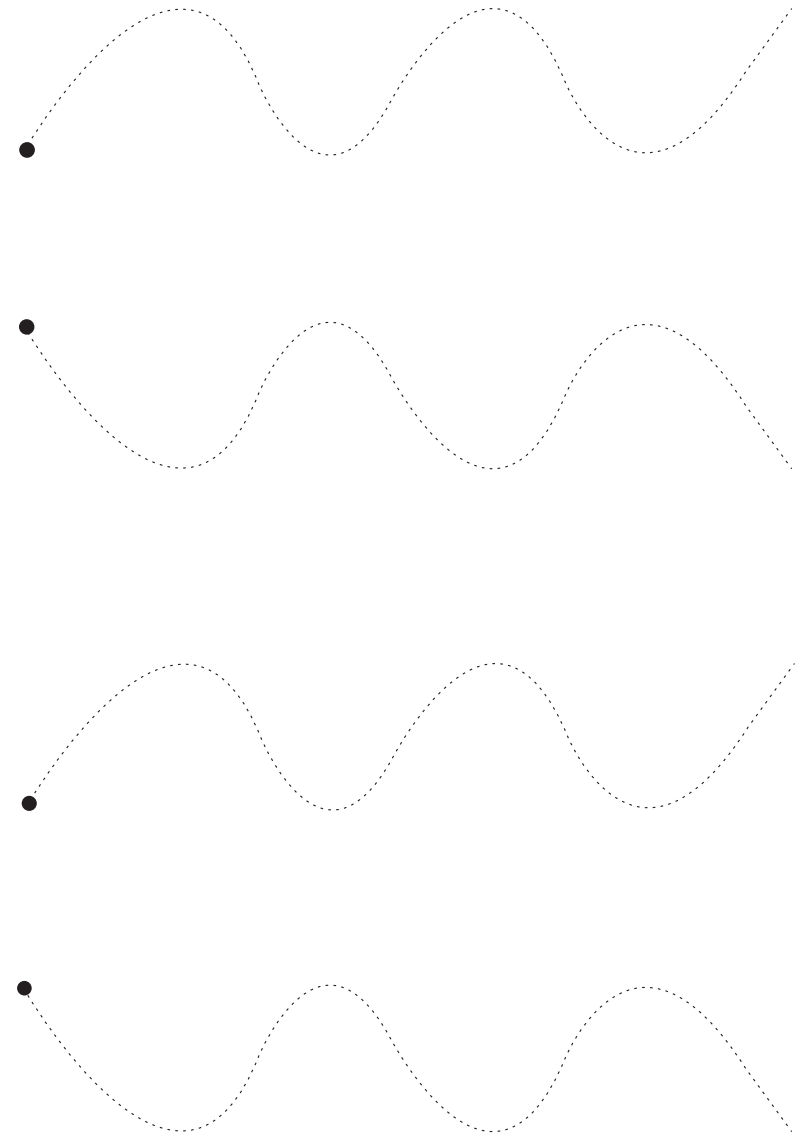
「できることをより立派に」は幼児期の子どもたちのテーマです。一つのことのできたら、それをもっと上手に、もっと自由自在に、もっともっと見事にできるように励みながら、子どもたちが夢中になってできるように仕向けることが重要です。一つのことを立派にできるように仕上げるのが、次のステップへの入り口となるのです。

てんせん
点線を えんぴつで なぞりましょう。



えんぴつで かくまえに
ゆびで リズムよく
なぞるのもいいよ！

てん
点●にえんぴつをおいたら、「うねうねうね」など、
こえだ 声に出しながら いっきになぞりましょう。



なみ みたいだね～

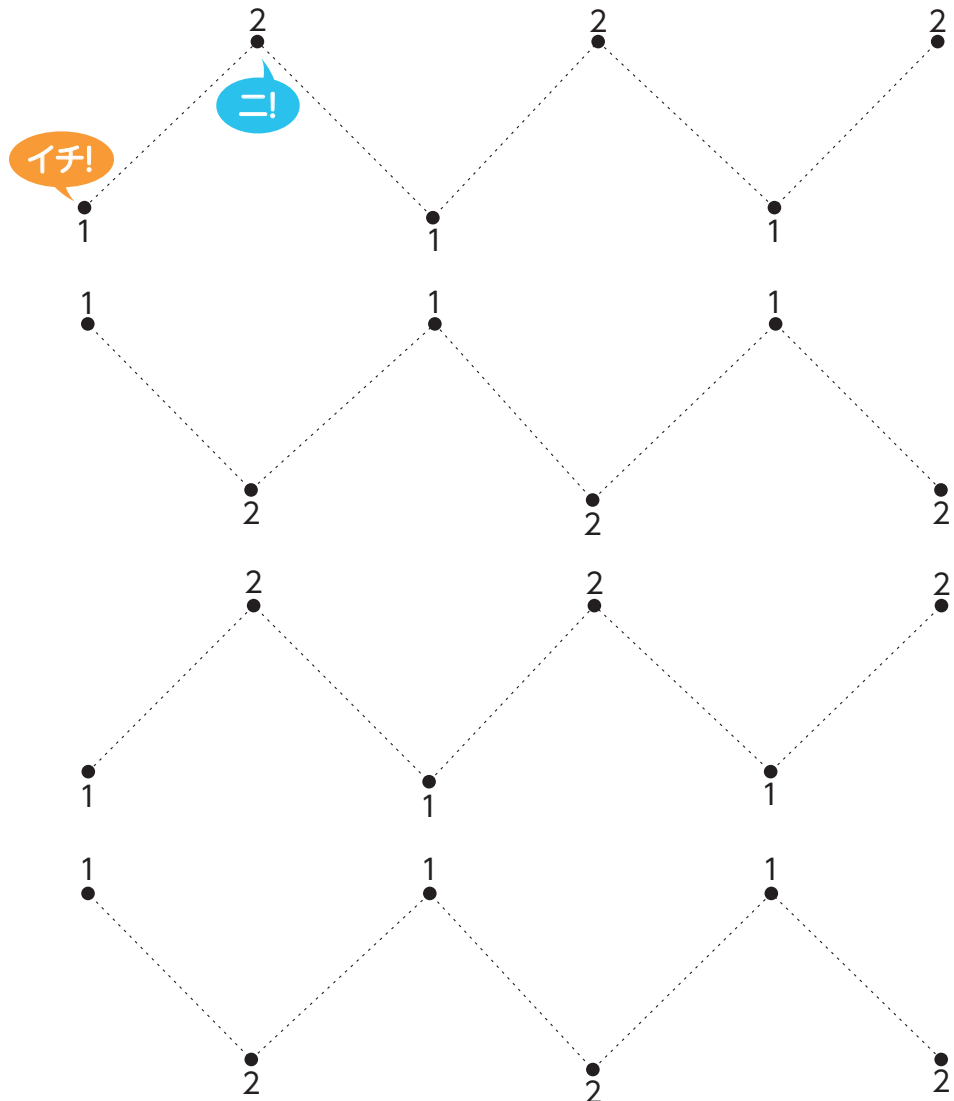




上里メソッド

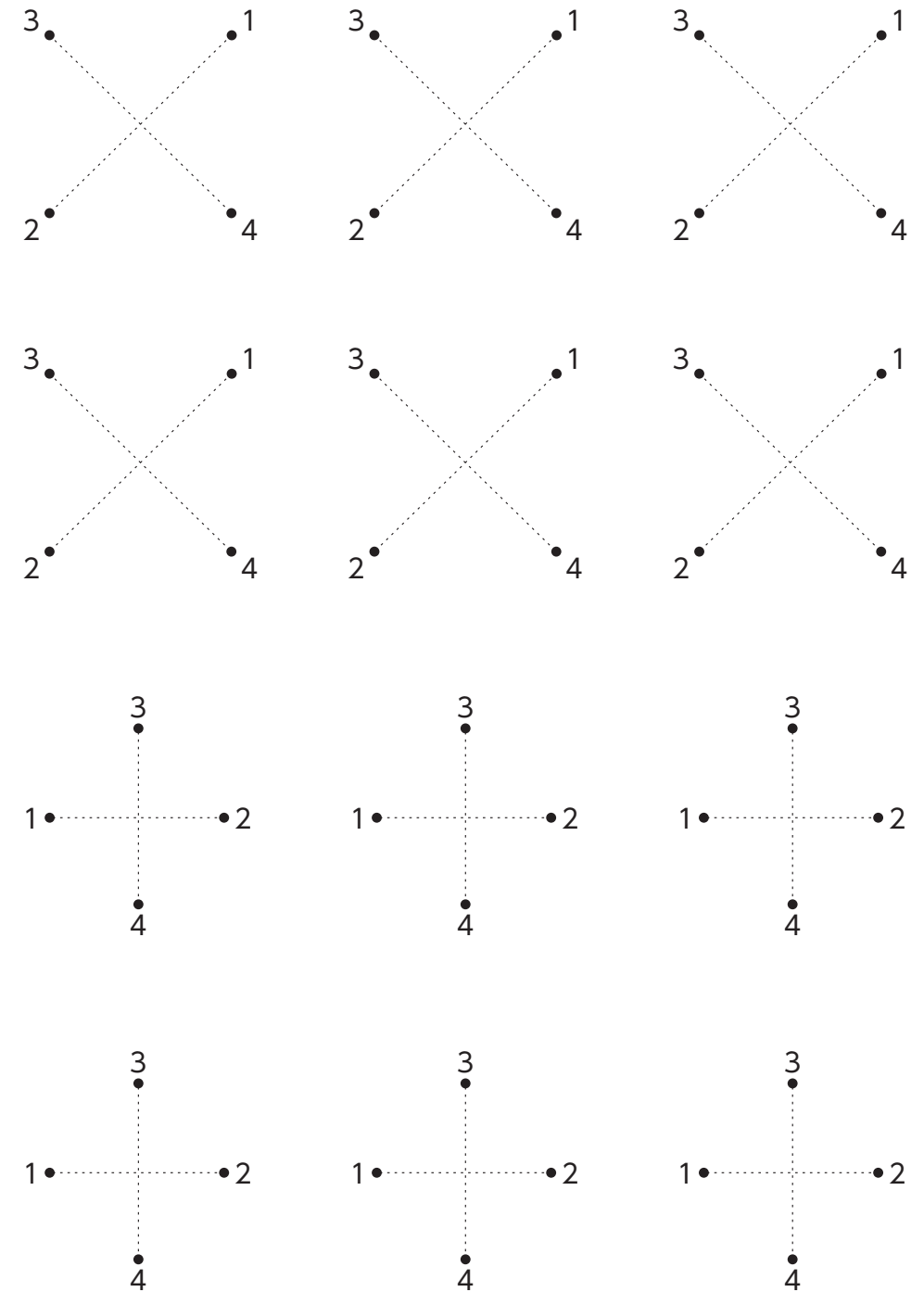
腕を使って線を書くようにしましょう。
指先だけや手首を使って線を引かないのがポイントです。
はみ出したり、曲がったりしても気にしないようにしましょう。

「イチ、ニ！ イチ、ニ！」^いと言いながらリズムよく^{てんせん}点線をなぞりましょう。



げんきよく こえを
だしながらかこう！

「イチ、ニ！ サン、シ！」^いと言いながらリズムよく^{てんせん}点線をなぞりましょう。

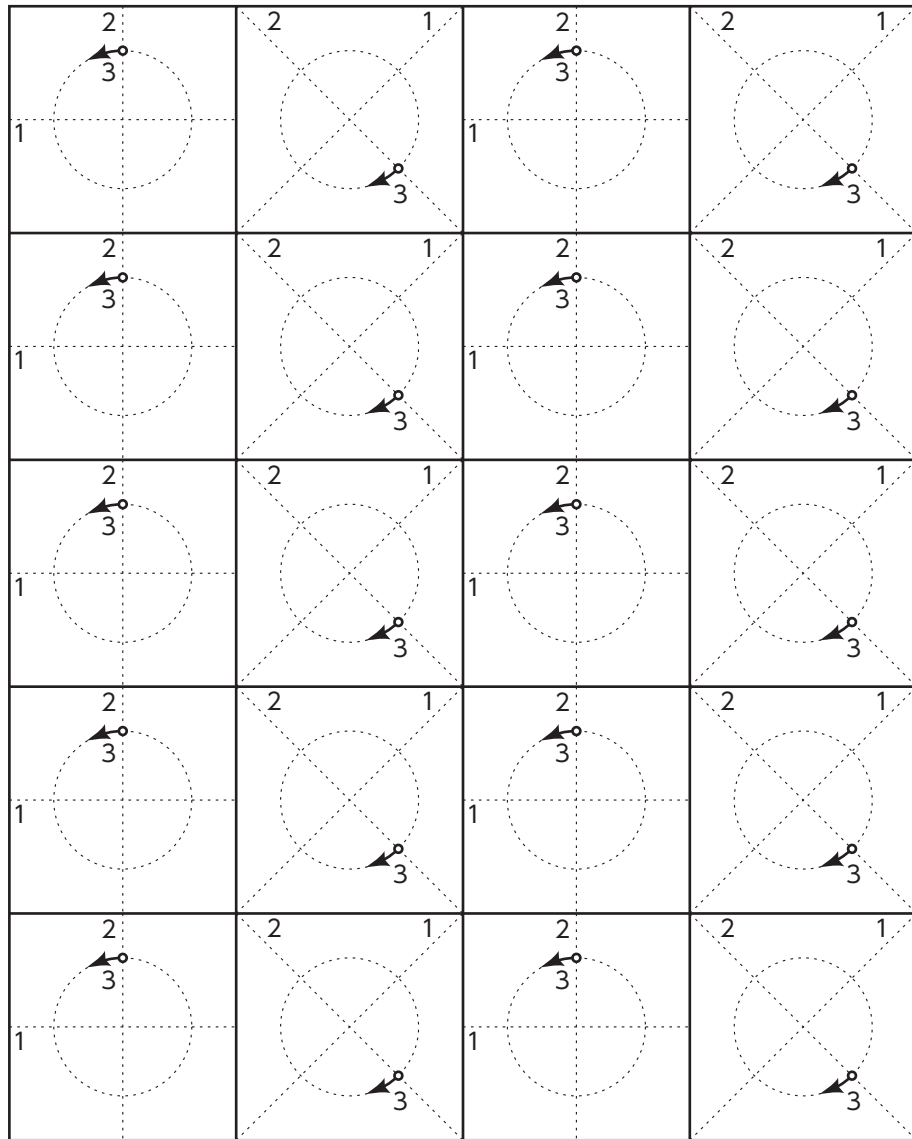




上里メソッド

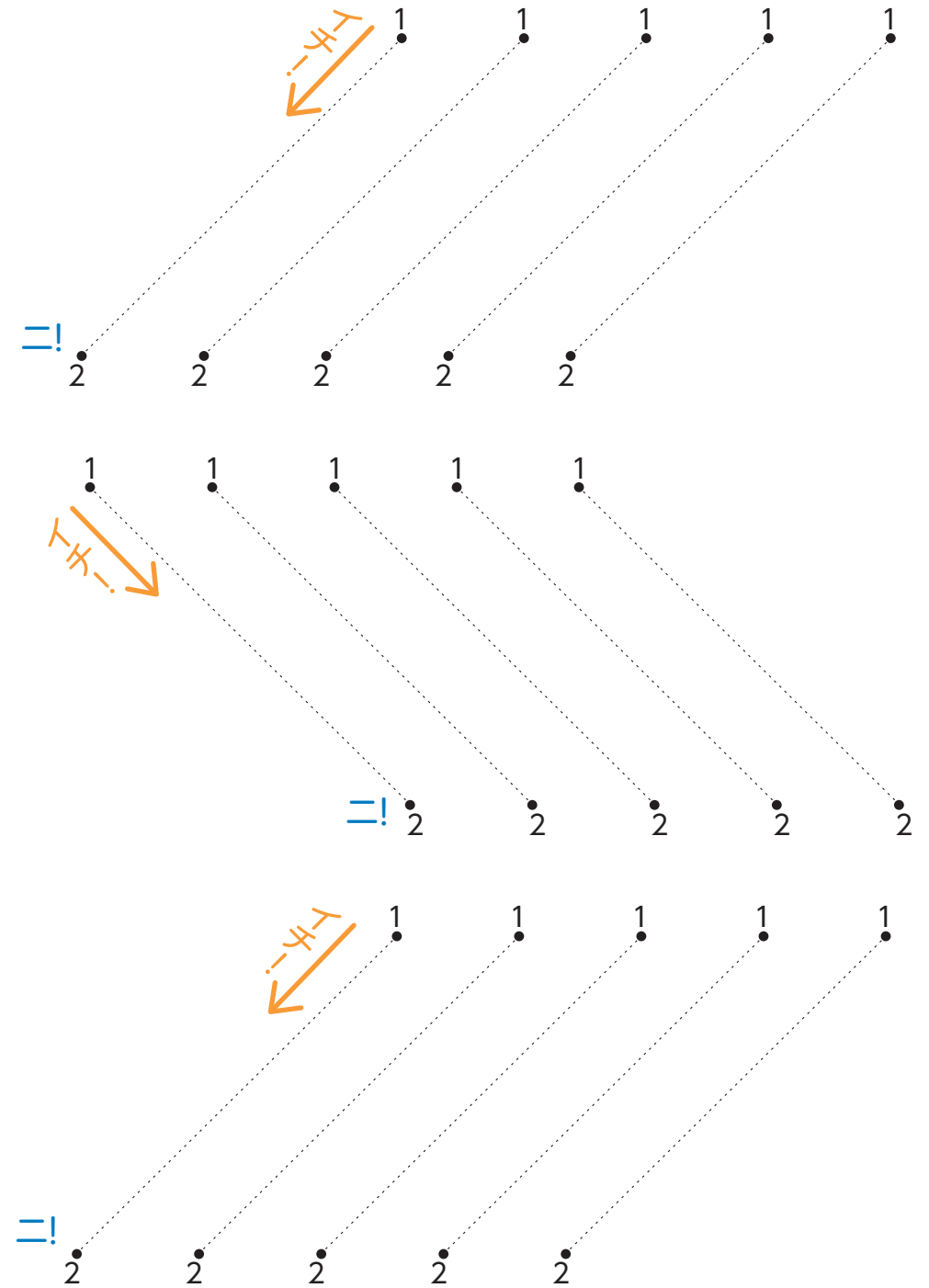
鉛筆が持てない子、筆圧の弱い子は、この教材を使う前に、自由帳などに鉛筆あるいはクレヨンなどでぐるぐる書き（線書き）を十分にやってみましょう。

「イチ！ニ！サン！」^いと言いながら
リズムよく^{てんせん}点線をなぞりましょう。



いっきに ぜんぶ なぞらなくてもいいよ。
1にち1ぎょうずつでもいいよ！

てんせん
点線を えんぴつで なぞりましょう。

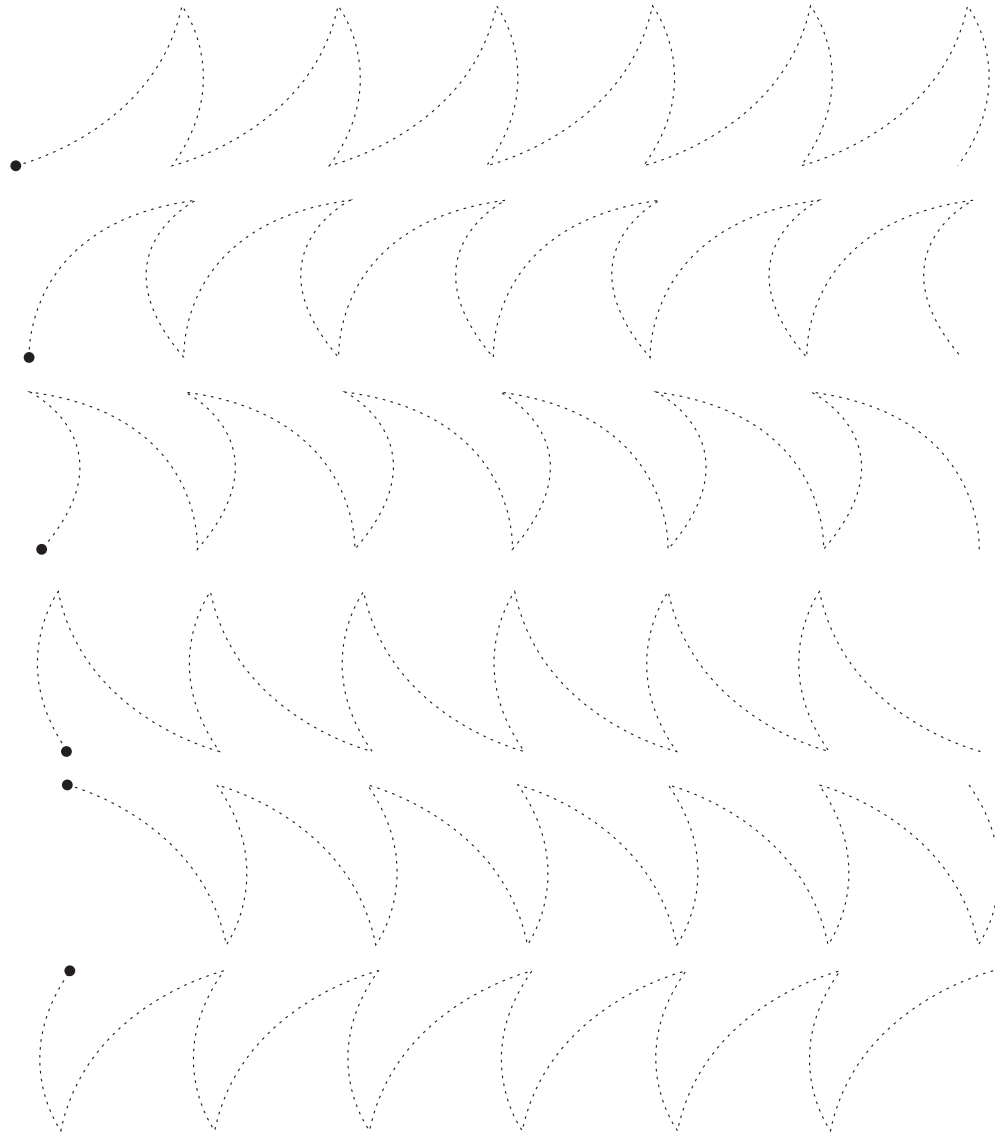




上里メソッド

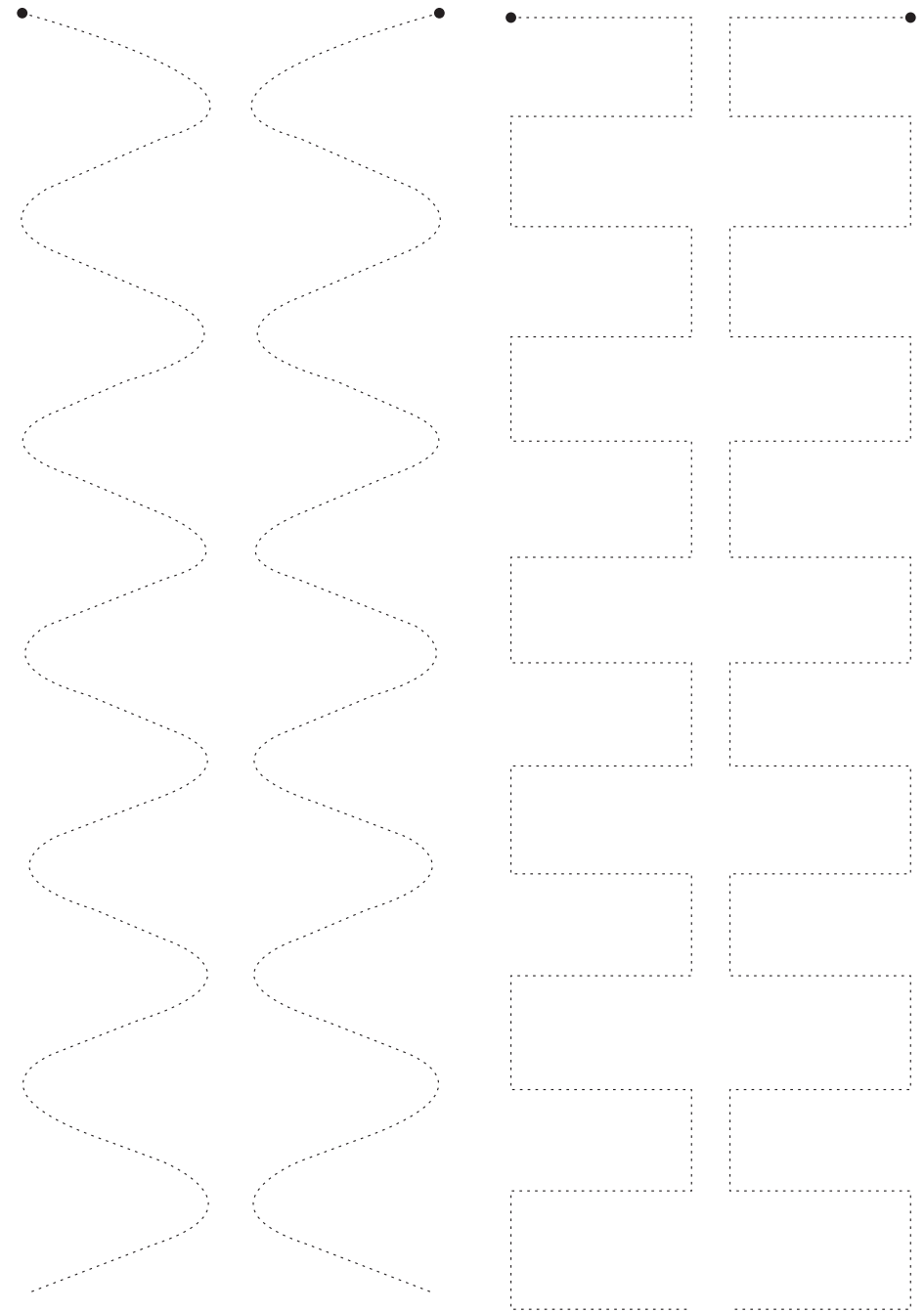
自分が思った通りに鉛筆を動かすことができる＝文字が書ける、絵が描けるということに繋がります。
思い通りに鉛筆が動かせるようになると、文字を書くことが楽しくなりますね。
これからどのように書くかイメージするために鉛筆でなぞる前に、指でなぞる練習をしてもよいでしょう。
ただし、鉛筆で書くときは腕全体を動かすことを意識しましょう。

てん
点●にえんぴつをおいたら、「ナミナミナミ」など
こえ だ いっき
声に出しながら一気になぞりましょう。



うみの「なみ」みたいだね！
1にち1ぎょうずつでもいいよ。

てん
点●にえんぴつをおいたら、「ナミナミナミ」「カクカクカク」など
こえ だ いっき
声に出しながら一気になぞりましょう。



ゆびで、なぞるれんしゅうをしてから、
えんぴつをつかってもいいよ。





上里メソッド

ひらがな・カタカナを正しく書く練習です。
書く前に筆順を教えてあげて、人差し指で空中に大きく「つ」などと声を出して書いてから、鉛筆をもって書くようにしましょう。

ひらがなの書き順を確認してから、縦に書いていきましょう。

※ひらがなの書き順一覧は、裏表紙をご確認ください。

の	し	く	つ
の	し	く	つ
の	し	く	つ
の	し	く	つ

← みぎのぎょうから
かいていこう

ひらがなの書き順を確認してから、縦に書いていきましょう。

り	あ	て	ん
り	あ	て	ん
り	あ	て	ん
り	あ	て	ん



ひらがなひょうをみて、
おなまえもかけるかな？



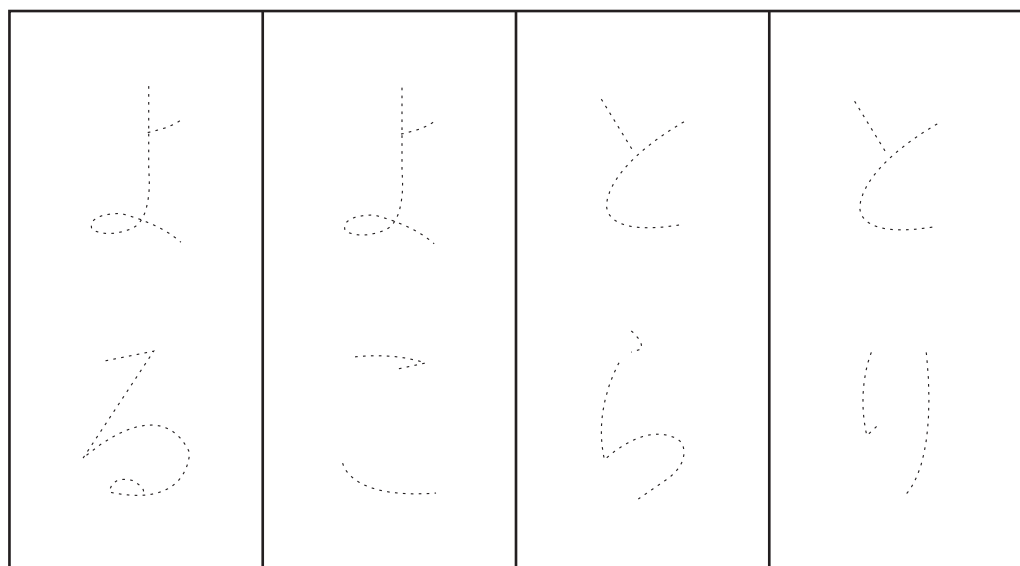
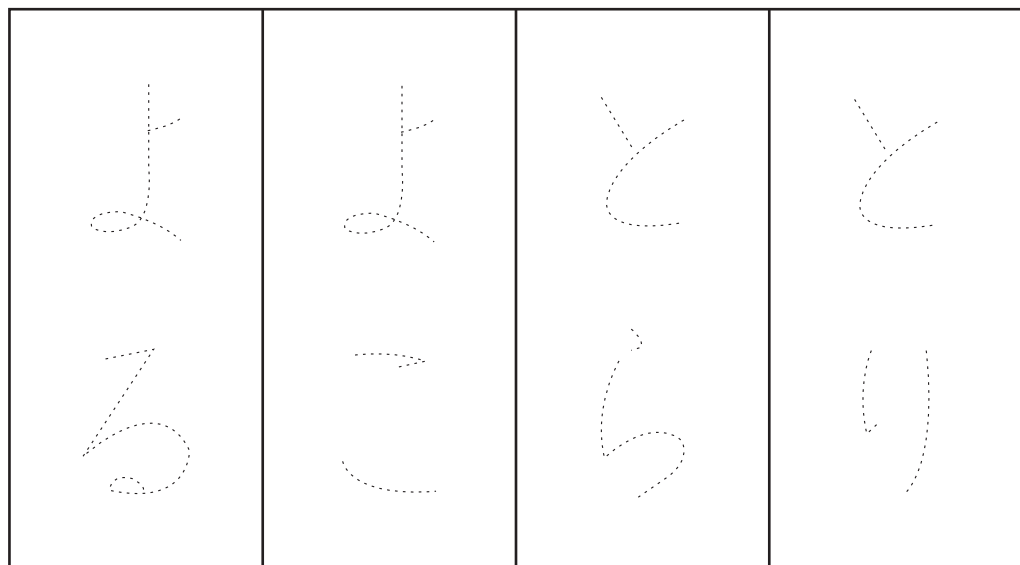
ダウンロード



上里メソッド

書くときは、筆順に従って「イチ、ニー、サーン」などと声を出しながら書きましょう。
文字を覚えるときに、書き順というものがあると意識することが大切です。

ひらがなの書き順を確認してから、縦に書いていきましょう。

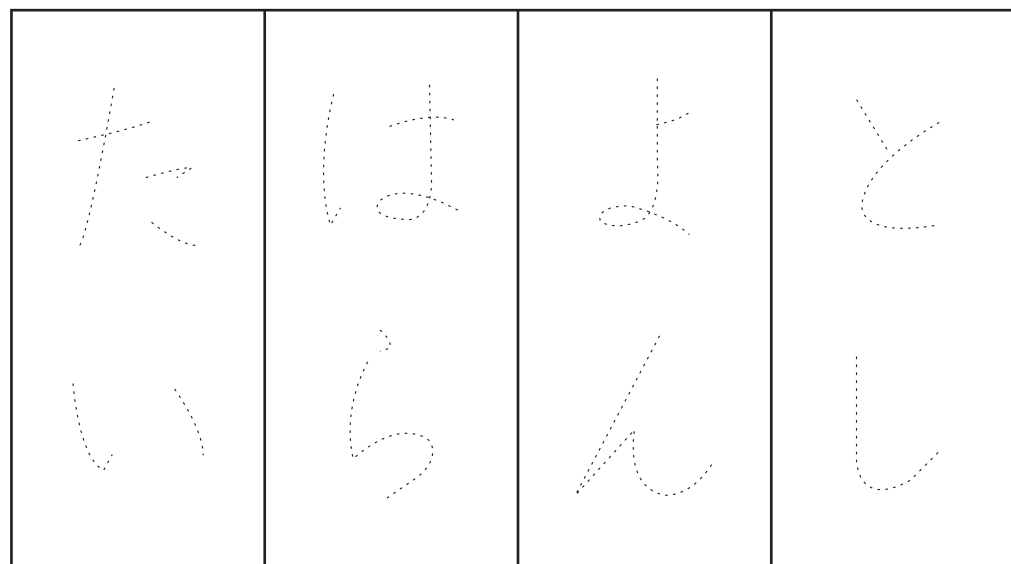
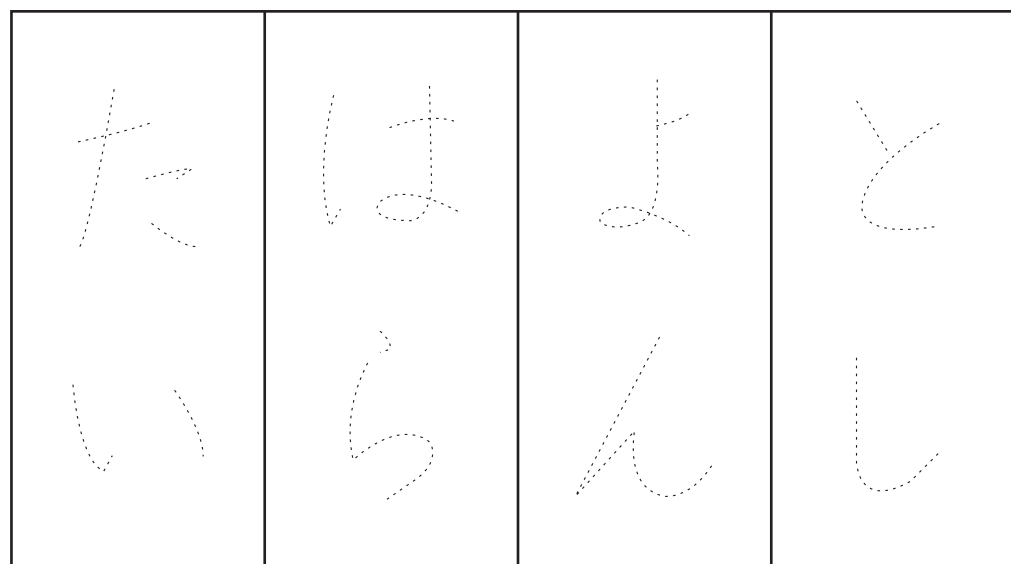


← みぎのぎょうから
かいていこう

書き順を確認し、2文字の言葉を読んだあとに、
そのひらがなを読みながら、えんぴつでなぞりましょう。

「とし」であれば、

- ① 「と」と「し」の書き順を確認する
- ② 「とし」を言う
- ③ 「と」と言いながら「と」を書く。「し」と言いながら「し」を書く。





上里メソッド

一字、一字ではなく、単語の単位で書くことが大切です。
声を出して読んでから、書きましょう。

か ^{じゆん} ^{かくにん} ^{もし} ^{ことば} ^よ
書き順を確認し、3文字の言葉を読んだあとに、
そのひらがなを読みながら、えんぴつでなぞりましょう。

す て る	こ わ す	こ ろ ぶ	あ る く
ひ ろ う	な お す	お さ る	は し る

か ^{じゆん} ^{かくにん} ^{もし} ^{ことば} ^よ
書き順を確認し、3文字の言葉を読んだあとに、
そのひらがなを読みながら、えんぴつでなぞりましょう。

か つ ぐ	も ぐ る	つ な ぐ	む し る
お ろ す	う か ぶ	は な す	う え る

3もじの どうさを あらわすことばだよ。
「うえる」って どのういときにつかうかな？





上里メソッド

固い芯の鉛筆を使うと鉛筆の持ち方が悪くなるので、
3~4才くらいの時期は必ず2Bくらいの鉛筆を使いましょう。
4B以上の鉛筆は、絵を描くときに使用するものです。

か ^{じゆん} ^{かくにん} ^{もし} ^{ことば} ^よ
書き順を確認し、3文字の言葉を読んだあとに、
そのひらがなを読みながら、えんぴつでなぞりましょう。

し ろ い	ま う え	は や い	こ お る
く ろ い	ま し た	お そ い	と け る

か ^{じゆん} ^{かくにん} ^{もし} ^{ことば} ^よ
書き順を確認し、3文字の言葉を読んだあとに、
そのひらがなを読みながら、えんぴつでなぞりましょう。

な な つ	い つ つ	み っ つ	ひ と つ
や っ つ	む っ つ	よ っ つ	ふ た つ

これは にほんの かぞえかただよ!
やっつのおとに つづくことばも 知っているかな?

